

刻晴の悲惨な結末
を目にした後、

甘雨は千岩軍を率いて
魔化ヒルチャールたち
との戦いに挑んだ。

井………

ガオ——

（悲！）

ふう……ふう……
お前たちの蛮行
はここまでだ！

つ……ついに……
このヒルチャールの
強さは異常すぎる……

ジュジュジュッ！

パツ！

オー！………

パパツ！

ぺちや〜

璃月の法律が必ず
お前を罰—っ!?

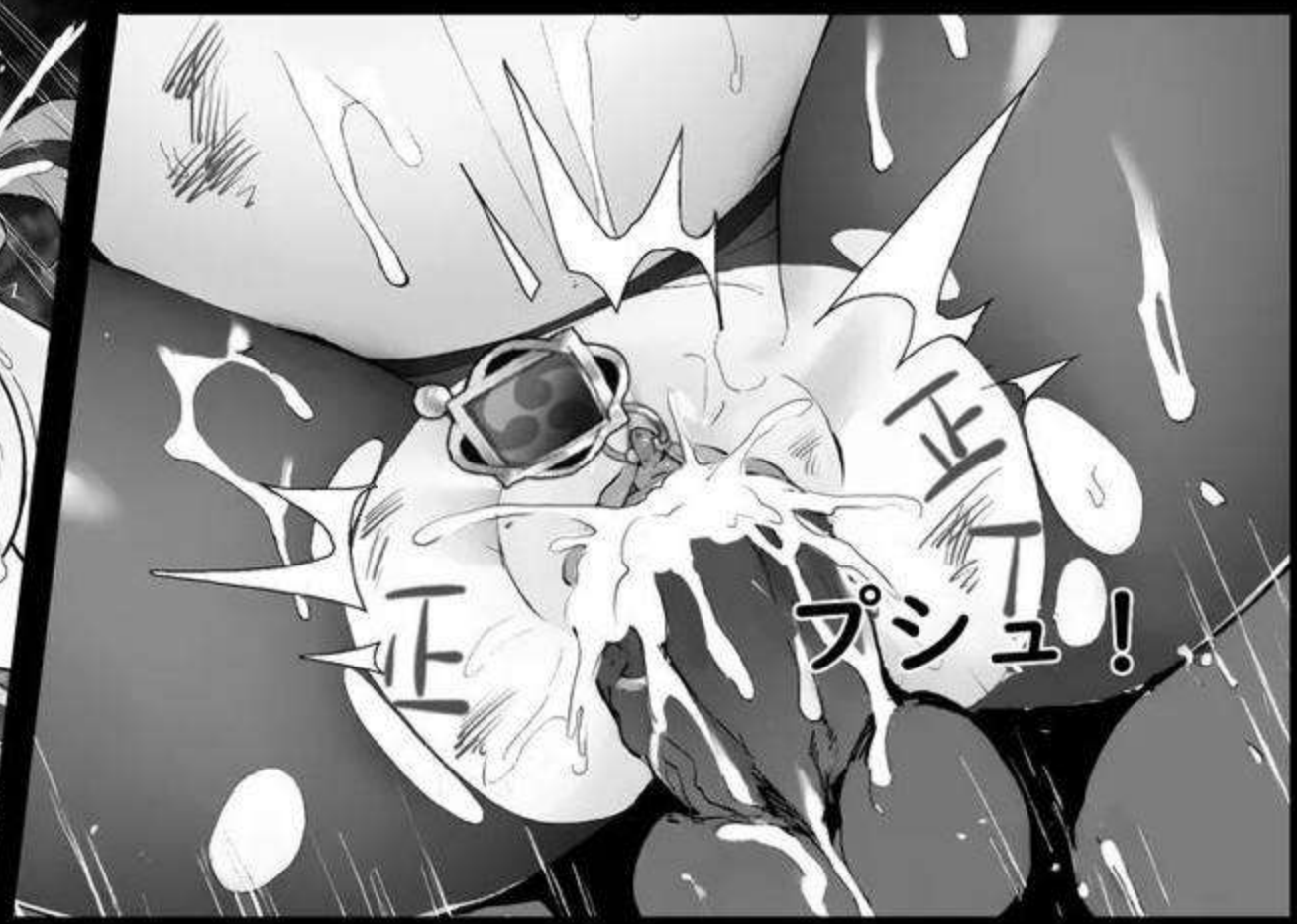
おっ…お前っ!
いつの間にな!?
刻晴! 刻晴えっ!

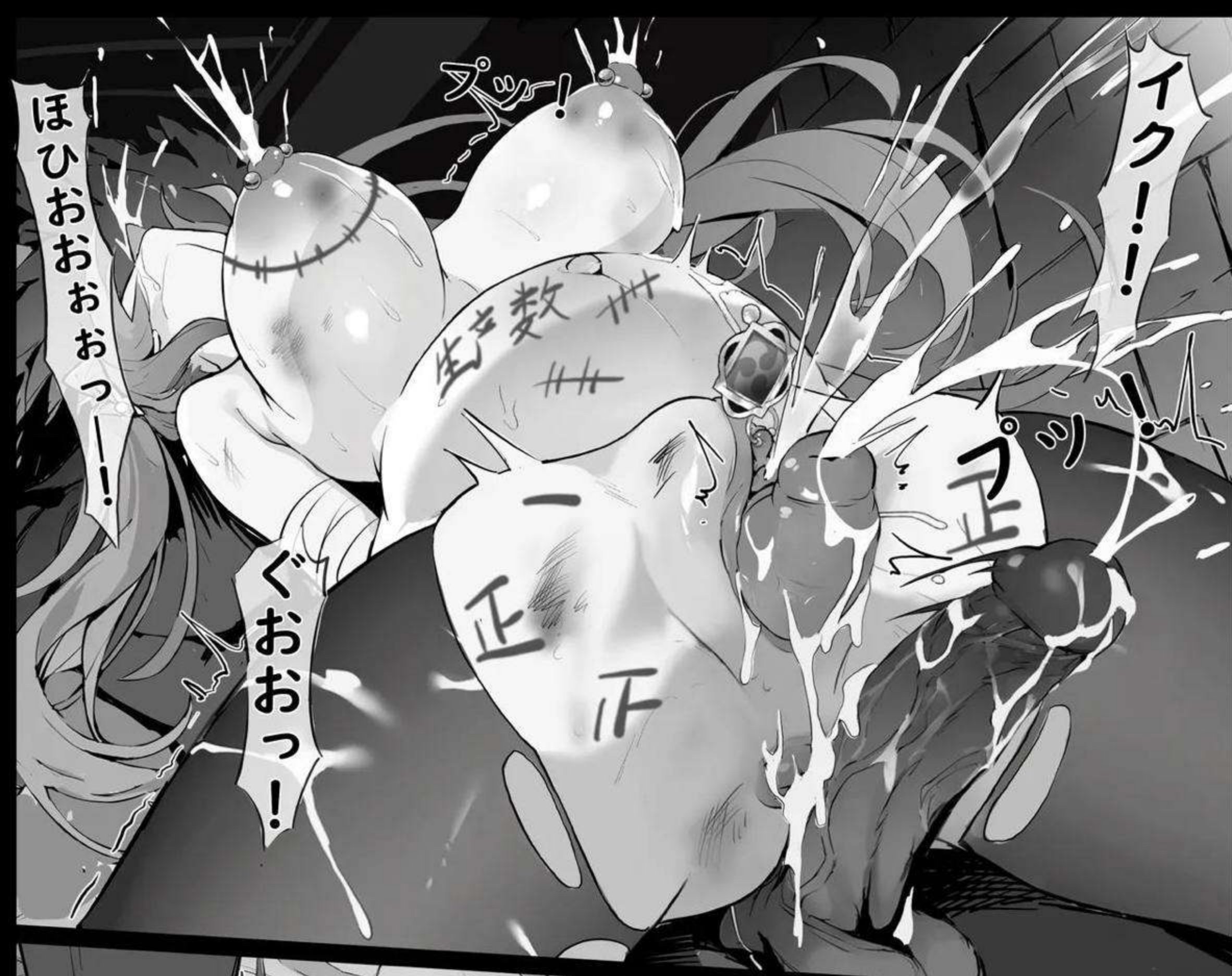
クク…息ができない
締め付けて…大好き
気持ちいい

ご主人様! ご主人様!
デカいチンポ! この
雌犬を犯し殺せ!

生産数

プチ〜プチ







ど…どうして…
刻…刻晴？

ひ…ひどい…
刻晴…ま…まだ
生きているの？



また子宮
脱出か。

この雌豚は
もう使えねえな。

ドン！ドン！



おい！頭に角が
生えてる巨乳女！

あれ？えっ！？



ほんと
使えねえ…

まあいい、別の
に変えよう

パキッ～パキッ～

こっちへ来い！跪け！
その淫乱なおっぱいで挟んで、舐めろ。

気持ちよくできたら、
性奴隷にしてやる。
ことも考えてやる。

な…何を言ってるんだ？

性…性奴隷？
どういう意味？
なんか汚らしい！

ま…まさか
刻晴みたいにな…

へ…へ…へ…

か…可哀想…

はあ～

はあ～

あいつは私を…

あんな風にしよう
とするのか…

ちゅっ



死にかけのくせに、
甘雨様に暴言を
吐くとは！

ご命令を！

許せん！

甘雨様！



そ、そうだよ...!!
今は追いつめられてる
のはあいつのはず
なの...

な、なんで
私が...



ただの...ヒル
チャールだよ...

はあ〜はあ〜

落ち着け...
落ち着け...

パチン！

私、何考えて！

数分後

んむむ！

失礼、失礼

甘雨さんってば、まさかフルコースをご所望とは

な、何をしたの...!!
どうして私の元素力が...

どうして元素力が使えないの？

二次的な原因はこの
従順な花エキス
ってやつかな

でもね

ほんとの理由は

押しつけ

プシュッ！

ドムメスブタですよー！

ひい！？
だ、ダメ！
この感じは…！

ダメだ！絶対
ダメ！我慢して！
我慢するんだ！

あゝすっごい
吸い付いてくる
甘雨さんって、けっ
才能あるよね

プチ！

プチ～

あれ？

ウソでしょ？たしか
お前もう何千年も
生きてるんだろ？
なんでまだ処女なの？

こんなに可愛くて、
体もエロいのにな
誰にも相手に
されないの？

な、何言ってる
のか…わかんない…
ひい！

そりゃあ、こんなに
発情するわけだ

ち…ちがつ…
はあっ

これ以上
させちゃダメ…

これ以上されたら
…ほんとに…

ダ…ダメ…

はなして！
はなせてば！

ぺちゃぺちゃ～

変態っ！この変態っ！
恥知らずのド変態っ！



ああ、分かった



なんで急に抵抗
しだしたんだ？



～すりすり

普段こいつら、お前
のことオカズにして
シコってたんだろ



んむっ！んむっ！

こいつらの
せい

へっ、そんなに反応
するってことは



くっそ…



彼らを侮辱しないで！

彼らは皆、真面目
に働いて普通に生活
している人たちだ！

ちよつと優しくして
やっただけで、てめえ
が席につけるとでも
思ってたのかよ!?

パッ!

いい気になりやがって!!

普通の人様だあ?
笑わせんなよ、この
イキリドMブタが!

ち、違うの...
そんな意味じゃ...

~プチ

お前の言ってること
なんか気にすると
思ってるのか？

ひゃっー
や、やめて！
髪を掴まないで！

余計なこと言うな

舌を出して、
舐める。

ひい？！

ビクビク～

舐める？何を
舐めるの？これを？

ま、まさか舌で
舐めるの…？

な…何考
てんだ？

～すりすり

ひいっ！

わ…私が
そんなこと…

よく考えてから
喋れよ…大人しく
俺に仕えねえとー

お前の可愛い後輩
たちは戻れねえぞ！

こ…後輩？
そ…そうだ…
守らなきゃ…

私がやらなきゃ…
みんな…

～はあ

はあ～

だから…だから…
これは！

仕方ないこと
なんだよね

でかい…くさい…
この匂いが濃すぎる…

刻晴はこのモノで
あんなふうになれ
ちやっただ…

くちゅ～

くちゅ

おい！
ちよっと聞けよ。
そんなチンタラ
舐めててー

？

いつになったら
俺イケんだよ？

角？角つかんだ？！

や、やめて！
角はダメだ！

掴む～

フェラのときはよー

ぐうん…んむっ！

プシュ！

ロゼんぶ使えってんだよ！
このドMアホメスブタが！



いっぱい：熱い：
胃が：焼けそう：

ギチ〜ギチ〜

首も折れそう…
意、意識が：

ゴク〜

〜ゴク

へえ〜
やつぱり…

ひいひい
アへへ…

顔上げろよ
ご主人様にその
メス豚面しつかり
見せろ

オエツ！

ケケケ〜まだ
気絶してねえよな？
何うつむいてんだ？

大当たりだ〜



大きな胸のヤギは、
明らかに生まれつき
のドMメス豚なのに！



この小さな童貞ども！
代々「甘雨姉さん」って、
甘雨姉さん！
呼び続けてきたのに、

千年経っても誰
一人、上下関係を
超えた関係になれ
なかったのか？

甘雨お姉さま、
かわいいそうだな

もう...首を
絞めないで...
ぐはっ...きし...

死...
死にそう...

ぎゅううっ...

でもお前らみたい
次から次へと群がる
屑どもがいなきや

この極上のドM
雌豚の処女マンコ
なんて味わえな
かったんだぜ

何言って...
ひいつ?

ま、待って!
それは...!!?

だ、だめ...!!
今は...

みんな見てるのに...

小さい養分共々
よく見とけよ

ゆっくり挿れて~

お前らの甘雨
お姉ちゃんは

ひいつ!!

耐えろ...反応しちゃ...
だめ...絶対耐える...

ぱんっ!

こうやって使うんだ!

ひいやああああ!

ぶっ

おもおもっ!

後輩たちの前で
乱暴に侵されて…

プププ！

欲望のはけ口
にされて…

こんなの…
こんなの…

耐えられない
わけない！

へっへっへっさつき
の信頼できる先輩の姿
はどこいったんだよ？

でっかいチンポ一発で
どこもかしこもびしょ
びしょじゃねえか？

甘々雨々お姉さんっ

パチパチ！

プチュッ！

やめて！やめてよ！
私の体…どうなっちゃうの？
ほひいい…ひいい…！！



ち、違う！あの薬
のせいであつたの…
ぎやあつたの…



ゆっくり？くくく
甘雨姉さんの千年処女
のエロ穴はそんな
こと言わないぞ

もつと…ゆっくり！
ゆっくりなの…！
激しすぎる！
ひいいあああ！

正直に、自分が
生まれつきのマゾ豚
だって認める



頭に二つもデカいクリトリス
なんて生えないだろうが？

ガッバ！

ガッバ！

握って～

生まれつきの
マゾ豚じゃなきゃ



そうですか？
じゃあ教えてくれ

角：角？
私の角？！

ギシッ〜ギシッ

私…

バキッー！

終わった…

ゲホッ

プッ！

ドボン！

「そろそろ、そろだよ」
「恥ずかしがらずに」

ジュ…

後輩たちの前しつ
かり見せてやれ

メスとしての本当
の姿を見せてみる！

ガッ？！

ビチャッ！

ドスン！

ゴホッー

ヒッ…ヒィー



グオオオッ!

ホイヤアアッ!

ビュルルッ!!

ビュッ!

プルル

ガツガツ...

プル~

もう気絶するの？

ぐふ...ぐふ...

くくく...
—#—くくく...



へっへっ
まさか？





プシュ!

ズポッ〜

そりやダメだなあッ

そんな簡単に
気絶しちゃったらす

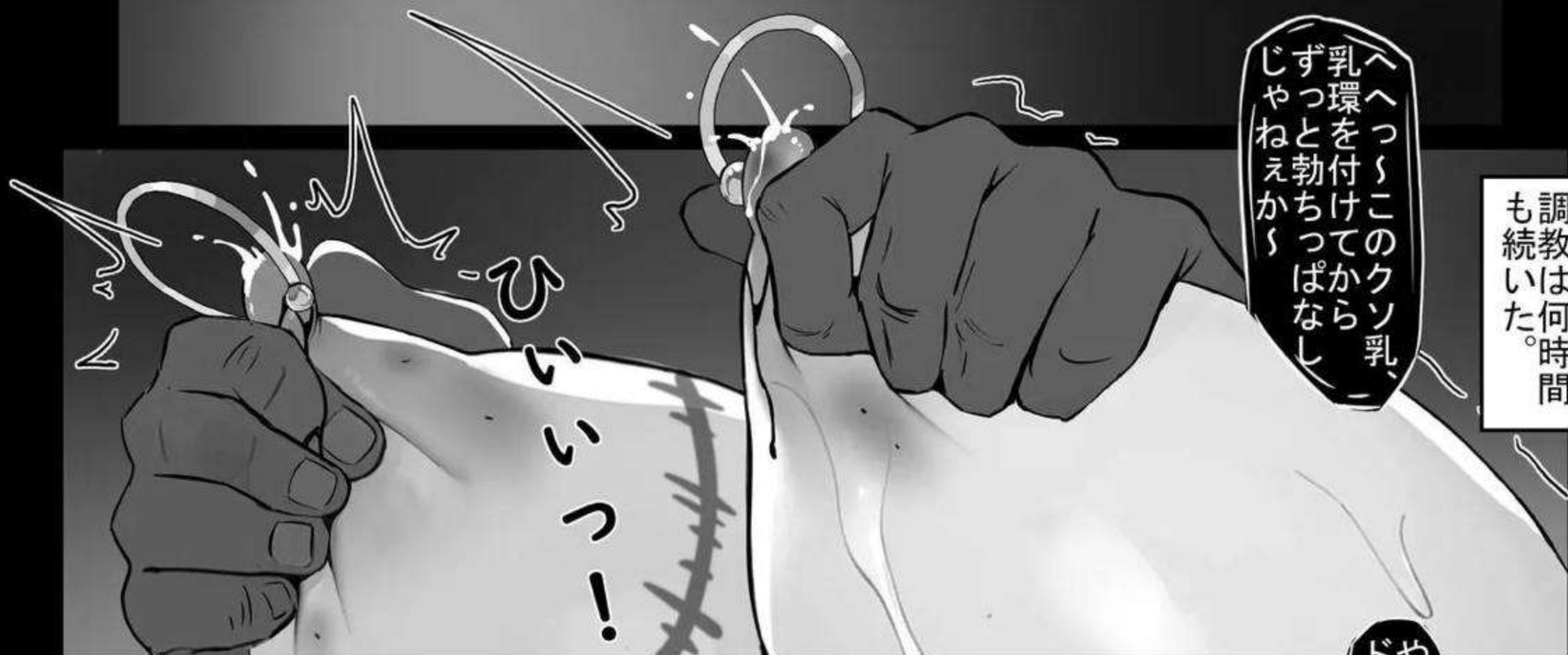


フ…フフフー

まともな肉便器に
なれねえぞッw

調教は何時間も続いた。

へへっこのクソ乳、乳環を付けてからずっと勃起っぱなしじゃねえか



やっぱりお前はド変態マゾだな

私は変態なんかじゃない... わ、私は！



私は月海亭の秘書！

璃月の民の
がために働くの

狂虐受

ひゃあああああ！

ま、またイク！
もういや...もう
イキたくないのに！



へえ、ほんとにかよ？
それでも自分はマゾ
じゃないって言うのか？

ご主人様に
逆らったらどうなるか…
もうわかってんだろ？

ひい？！
この体勢？！
そ、そこは？！

今このまま
一気に突っ込
んだら？

素直になれねえ
悪い子はどうなっ
ちまうんだらうな？

正

正

グツと～

まさか…
ぜ、全部？

この体勢で…
全部入れられるの？

駄目…
駄目…

そんなのされたら
私ぜったい…！！

ゆっくり～





無理...

もう...
身体が...



内臓までかき
回されてる...

いく...
止まらない...

狂虐受



お願い...
お願い許して!

びちゃっ!

頭がおかしくなる!
ほおおおっ!



甘雨お姉ちゃん！



これあげる！お嫁さんになってよ！

えっ…ええ！？



なんでみんな子供
のくせに大人ぶっ
てるんだよ…



わっ！
甘雨お姉ちゃん、
頭撫でないで！
本気なんだよ！



君のお父さんも昔
まったく同じこと
言ってたんだよ

子供扱いするなよ！



大きくなったら
絶対に甘雨お姉ちゃん
をお嫁さんにするんだ！

はいはい



じゃあちゃんとご飯食べて、
早く大きくならないとね

数年後

えっと…
甘雨姉さん？

ギィ~

あら、来たのね？

久しぶり。最近
は忙しいの？

まあ…

そんなことは
ないけど…来月
結婚するんだ…

今日はその
招待状を渡し
に来たんだ…

甘雨姉さんが忙しい
のは分かってるけど…

分かったわ
本当に忙しいけど、

結婚式なら絶対
に行くから。

おめでとう

うちの親父もずっと
会いたがつてて…







いいぞ、いいぞ、
ようやく正直になったな

んぐ…あひ…ご主人様、
もつと乱暴にこのデカ
乳羊を扱ってください…

ゴフツ…あへ…
気持ちいい…肉便器
になるの気持ちいい…
ひい…

～ぷしゅ

ぷしゅ～



どうだ？肉便器
になるのは気持ち
いいだろ



ほらほら、まず
は頭を上げろ



ひい…ありがとうございます
います、ご主人様

ご主人様がちゃんと
ご褒美をやらねえとな







死んじやう…
ご主人さま！
ごううっ！
ふるっ！

助けてっ！ううっ…
ご主人さま…助けて…

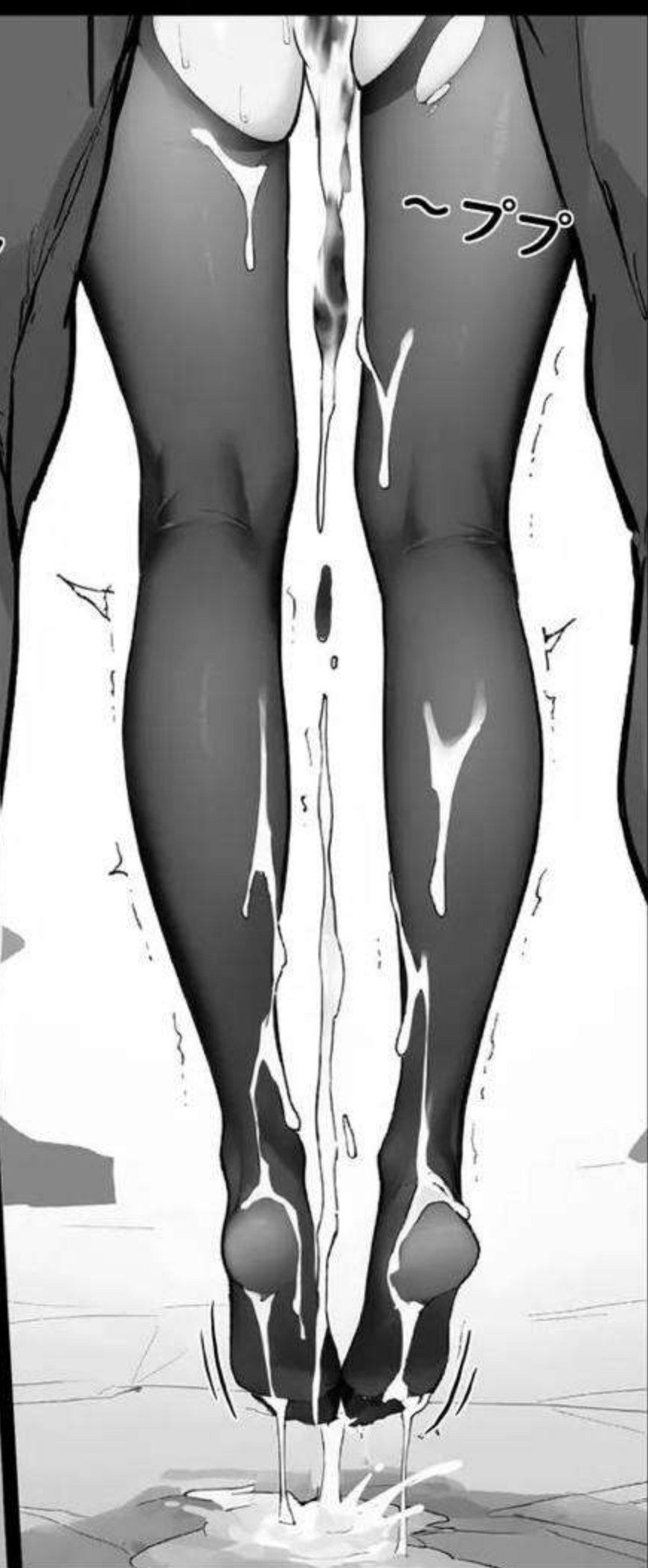
もがく～



母猪

ぶしゅっ！

ぶしゅっ！



何千年も
欲求不満だった

チンポを突っ込まれ
たらずぐにビチャビチャ
になっちゃうの――

マゾ豚に過ぎない



ブンブン!

見てみよう…
朝風の本通りに
やってみるか…

脚は…
この位置か…

止血帯
巻いたのに!

パキッ!

パキッ!

なんでこんなに
出血してるんだ?

くそー!
ぐほおおおお!

プッ!

くそ…顔まで
血だらけだ…



うう、デカ乳羊、
ますます舐め上手
くなってきたな

まさか何日も使える
とは思わなかったぜ



おい！てめえも
さっさと手伝えよ！

吊り上げ

何日もやってて
飽きねえのかよ？



ちよつと待って、
今行く…

いや、この
肉便器、本当に
気持ちいいな



俺はもう
ほんとんど
終わりだ！

嘆！



くそ、もういい！
好きにしろ！





でもその前に

チュパ

チュパ

デカ乳羊もうちょっと
主人のお手伝いをしないとね

to be continue